

令和6年度 取組方針 東部教育事務所

目標：急速に変化する予測困難な今後の社会を生き抜く力を身につけた子どもたちの育成
～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の推進～

☆重点的な取組

第3期教育大綱及び第4期高知県教育振興基本計画を踏まえ、適正な教育課程に基づいた教育実践により、学習指導要領の内容が確実に実施されるとともに、計画に定めた期間において、各目標を達成する。
東部管内の小・中学校において、チーム学校を基盤として、ICTを組織的に活用し、各種調査データを基に教育の質を高めていくための取組が、計画的・自律的・継続的に実施され、学習者主体の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られるように支援する。

①「予測困難な社会を生き抜く力を育成する（基本方針Ⅰに関して）」

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、『令和の授業を創る』推進プロジェクト「学力向上検証サイクル確立事業」等を通して問題解決型学習の推進を支援する。ICT（クラウド）を効果的に活用しながら、授業改善サイクルの確立や授業と授業外学習を切れ目なくつなぐシームレス化が進むように支援する。
- 教育の質の向上を図る「英語教育強化プロジェクト」「探究的な学び推進事業」「言語能力・情報活用能力育成プラン」等の各種指定事業に対して重点的に支援する。
- 「支援訪問」「未来を創る授業づくり推進ティーチャー育成事業」「東部教志塾」「小学校授業改善セミナー」を通して、授業力の向上を目指す教員、積極的に校内研究を推進する学校や教育委員会へ支援する。
- 子どもの規範意識等の向上や自尊感情の醸成を図り、一人一人の人權が尊重される学校・学級づくりの取組が組織的に推進するように支援する。

②「子どもたちの多様な背景・事情を踏まえた支援を行う（基本方針Ⅱに関して）」

- 学びの場において、ユニバーサルデザインに基づく授業づくりを実施し、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援が行われるように、校内支援体制の充実に向けた支援を行う。また、個別の指導計画や教育支援計画、引き継ぎシート等の作成及び活用の促進を支援する。
- 不登校の未然防止の取組や校内支援委員会の実施など、不登校に対する組織的な取組を学校経営計画に位置付け、学校全体でPDCAサイクルを回しながら組織として実践する取組を支援する。
- 「きもちメーター」等を活用した、早期の情報共有、初動体制の強化を支援する。専門人材を効果的に活用し、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援と校内支援体制のさらなる充実を図り、早期発見・支援の取組の推進を支援する。

③「学びの充実のための基礎・基盤の整備を行う（基本方針Ⅳに関して）」

- 児童生徒の資質・能力を育成するために、「全国学力・学習状況調査」「高知県学力定着状況調査」での課題等を基に、教職員が参画して学校経営計画を策定し、組織的、計画的に学力向上を図る取組の強化を支援する。
- 各校の校内研究の活性化を図るため「学力向上研究主任会」を実施し、授業改善の組織的な取組が推進するように支援する。
- 小学校教科担任制及び、中学校における教科のタテ持ち等による、組織的な授業改善の推進を支援する。また、小・中学校の円滑な接続を図るとともに教育の質を高める「チーム学校」の取組に対して支援する。
- 学校と地域の連携・協働による教育活動の充実を支援する。「地域とともにある学校づくり」を推進するとともに、持続可能な学校運営協議会を目指して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を支援する。
- 学校、保護者、行政が協働して、子どもたちを取り巻く様々な課題に対処していくための研修会を実施する。また、学んだことをPTAの取組に生かすことを促すことによって、PTA活動の振興を支援する。